

フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 mail : info@fb-komae.org

給食のない夏休み 食の分かち合いで子育て応援！ ひとり親世帯と就学援助受給世帯204世帯に食品をお届けしました



物価高が子育て世帯に大きな負担を強いるなか、コロナ感染拡大に加え、記録的猛暑の今夏、子育て応援の食料支援申し込みは、204世帯589人(18歳以下338人)で、昨年夏の176世帯を上回りました。8月2日から1週間で宅配便123世帯、直接受渡し81世帯の食品セットをし、無事すべての世帯に食品をお届けすることができました。食品の寄贈や配送料・梱包費用などご

寄付いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

食品お届け後のアンケートには「このような活動を支援して下さる市民の皆さま、企業の皆さまの善意に感謝し、普段以上に食べ物への感謝をするよう子供たちと話しています。」など、感謝の声が多く寄せられました。

★実施報告とアンケート回答は、ホームページに公開しています。

*昨年同様、食品提供(無料)の申込み案内は、狛江市が送付する就学援助受給決定通知と児童扶養手当現況届提出通知に同封して頂きました。



食品セットの様子



お渡し会の様子

物価高の影響は？

子育て応援アンケートより

◆生活に欠かせないものの値上げで、わが家も家計を直撃しております。せっかくの夏休み子どもたちを遊びに連れて行けず、とにかく節約をするしかありません。

◆食費の予算は変えられないので、食事の品数を減らしたり、母親である私の分を減らしたりしています。

◆食べ盛りなので、低コストでボリュームのあるものを考えて作っています。ガスや電気代もどんどんあがって、暑くてもなかなかエアコンに踏み出せず、水シャワーでクールダウンしています。

◆洗剤を買わず、重曹やセスキなどの色々な用途に使えるもので代用しています。小さくなった子供服をウエスにしたりしています。

【活動報告】

6月

- 9日 こま YELL と二者協議
- 16日 子ども政策課と子育て応援協議
- 20日 学校教育課と夏休み子育て応援協議
- 24日 コマラジ出演
- 27日 お米の「おすそ分け」お渡し会

7月

- 11日 こま YELL 学習支援にお菓子提供
- 14日 子ども政策課学習支援にお菓子提供
- 16日 パルスシステム狛江でフードドライブ
- 下旬 夏休み子育て応援申込受付開始

8月

- 2日 夏休み子育て応援食品セット開始
- 5日/7日 夏休み子育て応援お渡し会
- 7日 夏休み子育て応援申込受付終了
- 30日 福祉相談課・こま YELL と三者協議

【今後の予定】

9月

- 上旬 ニュースレターNo32 発行
- 8日 東都生協フードドライブ品受取り
- 17日 「くらしフェスタこまえ 2022」
- 17-18日 「こまエコまつり」

10月～食品ロス削減月間～

- 上旬 お米の「おすそ分け」お渡し会
- 17～21日 狛江市庁舎でパネル展示
- 中旬 学習支援 ハロウィン菓子提供
- 28日 第3回 団体交流会

『くらしフェスタこまえ』でフードドライブをします！

9/17(土) 10:00～15:00

場所 えきまえ広場 (小田急線「狛江駅」北口すぐ)

賞味期限1か月以上あり、常温保存できるものをお持ちください。食の支援を必要とする方や福祉団体、子ども食堂へおつなぎします。

環境イベント『こまエコまつり』でパネル展示をします！

9/17(土)・18(日) 両日とも10:00～15:00

場所 中央公民館第二会議室

- 食品ロス問題を考える
- SDGs に取り組むフードバンク活動を紹介



10月は「食品ロス削減月間」

今年も市庁舎ロビーにてパネル展示で食品ロス削減を呼びかけます。

10/17(月)~21(金)

場所 狛江市役所2階ロビー



2021年パネル展示

国民一人当たり年間一日お茶碗一杯のご飯を捨てています。一方で世界の約9人に1人が満足に食糧を得られていない現状があり、日本でも7人に1人の子どもが相対的貧困で食事に困っているとされています。

食べない食品はフードバンクに寄付するなど、食品ロスを減らすための身近にできる行動がSDGsにつながります。市役所にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

「食の分かち合い」 地域の第3回団体交流会を開催します。

フードバンクへ食品寄贈や支援を行っている団体と、その食品を活用して生活困窮者や子ども・高齢者・障がい者の支援を行う団体が顔を合わせ、互いを知ることがを目的に、当団体主催の団体交流会を3年ぶりに開催します。

10/28(金) 18:30~20:30

場所 防災センター401~403



2019年第2回交流会の様子

6月~8月 寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆さま、 本当にありがとうございました！

■食品の寄贈(敬称略):3色パステルアート/明治グループ/東京すずらんの会/尾西食品(株)/天理教江東分教会/狛江三田会/株JR東日本クロスステーション/アサヒグループ食品/グルメシティ三鷹中原店/グルメシティ神代店/グルメシティ武蔵境店/コープデリ三鷹センター/コープみらい調布染地店/コカコーラボトラーズジャパン(株)/ダイエー幡ヶ谷店/トータス往診クリニック/パルシステム東京狛江センター/フーディアム下北沢店/モランボン(株)/町田華嚴院(株)プランクカイスイム/生活クラブ フードバンク/大鵬薬品工業(株)/中山法律事務所(八王子)/朝日生命保険 堀口珈琲/KENKO Coffee/(有)菅沼製作所/世田谷杉本商店
他、企業・市民の皆さま(217名)より約4.5トン。

■お金の寄付:一般社団法人水澤様、大橋晃太様ほか、延べ42名の皆さまから総額約26万円の寄付を頂戴しました。



副理事長コラム
中島信子
(八月のひかり著書)

8月10日の東洋経済新聞 Education×ICTに「八月のひかり」に関するインタビューが掲載されました。インタビューアーの吉田さんは、なんと40年前に拙作の「水色のジュン」と出会い苦しみの中にあつた子供時代を乗り越えた人でした。

この時からライターへの夢を膨らませ私の前に立ちました。インタビュー後その事実を知った私はマイノリティーの子ども達を描き続けた意義を強く感じ、鳥肌の立つ感動を味わいました。「八月のひかり」はフードバンク狛江との関わりがあつたからこそ上梓された作品です。フードバンク狛江はボランティアの方々の愛と支援に支えられた団体で、その活動と私の想いを吉田さんは記事として丁寧にまとめてくれました。

インタビュー記事はこちらからお読み頂けます→



NPO 法人 フードバンク狛江 事務所・倉庫

〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7

開所日: 毎週月曜・木曜 13時~17時

Facebook: 「フードバンク狛江」で検索



※正会員・賛助会員を随時募集しています。

←クレジットカードからの寄付も受け付けています
ご支援・ご協力をお願いいたします。